

お知らせ

☎ 仙北市新型コロナウイルスワクチン接種推進室 ☎ 49-7075

新型コロナウイルスワクチンの接種については、すでに医療従事者への先行接種が始まっていますが、国では、65歳以上の高齢者の接種開始時期について、4月12日(月)からとしています。

ただし当面はワクチンの出荷数に限りがあることから、限定的な接種になると思われます。また、65歳以上の高齢者接種の対象者全員のワクチンが全自治体へ配送されるのは、6月末になるとされています。

仙北市の現在の準備状況は…

- 65歳以上の方への接種券の発送の準備をしています。3月中旬以降の発送を予定していますが、ワクチンの供給状況などにより遅れることもありますのでご留意願います。
- その後、具体的な接種の日程が決まり次第、予約券と接種日時、会場、送迎バス時刻表などが入った書類が郵送されます。その書類をご確認のうえ、ご希望の日時、会場を予約していただくことになります。
- 仙北市に最初のワクチンが届くのが、4月26日の週と見込まれていますので、ワクチン接種は、5月1日以降を想定しています(次回の広報でお知らせします)。
- 仙北市では、当面、集団接種方式を予定しています。現時点で想定している会場の接種計画は次のとおりです。

▼ 月曜日～金曜日

集団接種会場	接種時間	月	火	水	木	金
田沢湖健康増進センター	16:00～17:00	○	○	○	○	○
角館交流センター	14:00～17:00	○	○		○	○
西木コミュニティセンター (旧西木保健センター)	14:00～17:00			○		

▼ 土曜日・日曜日

集団接種会場	接種時間	土	日
田沢湖健康増進センター	14:00～17:00		○
角館交流センター	14:00～17:00	○	
西木コミュニティセンター (旧西木保健センター)	9:00～12:00		○

※個別接種については、ワクチンの供給状況、医師会との調整のうえで検討します。

新型コロナウイルスワクチン Q & A - その1 ※厚生労働省のホームページから抜粋。

Q. ワクチンを受けられない人は?

A. 一般に以下の方は、ワクチンを受けることができません。

- ▶ 明らかに発熱している方
- ▶ 重い急性疾患にかかっている方
- ▶ ワクチンの成分に対し、アナフィラキシーなど重度の過敏症の既往歴のある方
- ▶ 上記以外で、予防接種を受けることが不適当な状態にある方

Q. 持病があり、薬を飲んでいる人はワクチンを受けられるの?

A. 薬を飲んでいるために、ワクチンを受けられないということはありませんが、基礎疾患のある方は、免疫不全のある方、症状が重い方など、接種を慎重に検討した方がよい場合があります。

ただし、抗凝固薬(いわゆる「血をサラサラにする薬」の一部)を飲んでいる方は、ワクチンを受けた後、2分以上しっかりと押さえてください。

Q. ワクチンを受けるのに注意が必要な人は?

A. 一般に以下の方は、ワクチンを受けるに当たって注意が必要です。

- ▶ 過去に免疫不全の診断を受けた方、近親者に先天性免疫不全症の方がいる方
- ▶ 心臓、腎臓、肝臓、血液疾患や発育障害などの基礎疾患のある方
- ▶ 過去に予防接種を受けて、接種後2日以内に発熱や全身性の発疹などのアレルギーが疑われる症状がでた方
- ▶ 過去にけいれんを起こしたことがある方
- ▶ ワクチンの成分に対して、アレルギーが起こるおそれがある方

また、筋肉内に注射をすることから

- ▶ 抗凝固療法を受けている方、血小板減少症または凝固障害のある方は、接種後の出血に注意が必要とされています。

このほかにも厚生労働省のホームページ(https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00222.html)に掲載されています。



今回のテーマ

秋田のここが好き！(上)

皆さん、こんにちは！国際交流員の黄敏(ファンミン)です。広報を書かせていただき、一年になりました。赴任したばかりの昨年の冬は雪が少なかったですが、今年は打って変わって記録的大雪を体感しました。雪が大好きだと騒いでいる台湾人の私でも、相次ぐ雪害事故のニュースや、同僚のびっくりするくらい長い除雪時間などを聞き、改めて雪国生活の厳しさを知りました。私はアパート暮らしのため、除雪は駐車場だけですが、それでもいっぱいいっぱいです。先日はスタックの洗礼も受け、真の秋田人に少し近づいた気がしました。

今回は秋田に一年半暮らしてきた台湾人の視点で、秋田の好きなおところをいくつか皆さんにお伝えしたいと思います。

1つ目 / 贅沢な静寂

仙北市に移り住んで3か月が過ぎた頃、新幹線で東京を訪れたときにあることに気づきました。それは東京と秋田の音の違いでした。東京駅のホームに降り立った瞬間に、襲ってきた環境音にびっくりしました。駅構内のアナウンスや、機械作動音、すれ違う人の会話音で、東京ってこんなにうるさかったっけ?と場違い感を覚えました。わずか2年程前までは東京で暮らしていたはずなのに、いつの間にか秋田の穏やかな静寂が体に染みみついているようです。家にいても、街中を歩いても、ささやかな鳥のさえずりと葉擦れの音が聞こえる、この日常の贅沢さは都会と仙北市、両方に住んでみないと分からないものです。

ベストフォト

体験、景色、日常…。日頃撮った写真の中から、お気に入りの写真をご紹介します!!



三種町でじゅんさい採りを取材してきました。収穫体験が大好きです。



紅葉シーズンの駒ヶ岳登山が最高でした。



新角館行舎からの眺めです。何気ない冬の日常が好きです。

2つ目 / 車社会で便利

東京に留学していた頃、電車に乗るのが苦痛でした。アパートから駅まで歩いて、改札からホームまで歩いて、乗換駅でさらに歩いて、運動になるのはいいですが、乗換の待ち時間などを含めて、時間のロスをととても感じていました。電車やバスの時間に合わせて行動する都会と違い、車社会の秋田。自分の準備ができ次第、車に乗って自由に行動できるというのは最高です。

乗り換えなしで目的地に直接行けること、施設併設の無料駐車場が多いことなど便利に感じる点がたくさんあります。特に感染症拡大が心配な今は、不特定多数と接触する交通機関を使わなくていいことはストレス軽減につながります。地方の車社会は不便だと思う方が多いかもしれませんが、自分は素敵なことだと感じました。

秋田に来て、心に余裕が持てる生活が送れていることは、とても幸運で恵まれていることだと思っています。今回は二つほど好きなおところを紹介しましたが、次回(5月16日号)にまたいくつか紹介したいと思います。ぜひ見てくれっすな!